

成績評価・卒業・進級の認定基準

客観的な指標の算出方法

○成績評価の基準・方法

教育課程に従って授業科目を履修した場合には、その成績を評価して単位を与え、成績評価は、試験の成績およびレポート評価、授業の学習状況、出席状況等を総合的に考慮して評価すると定めている。

特に本校の場合、出席時間数についても定めており、講義については3分の2、演習については3分の2、実習については5分の4に満たない場合には、理由の如何に問わず単位を与えないとしている。

○客観的な指標の算出方法

成績評価とGPA (Grade Point Average)

授業科目の成績評価に対して点数を与え、その点数に各科目の単位数をかけて総単位で割って算出されたGPAを用いて成績の分布状況を把握するものとする。

* 評価区分

評価区分	G P	点数
S	4	100点～90点
A	3	89点～80点
B	2	79点～70点
C	1	69点～60点
D	0	60点未満

* GPA 算出方法

$GPA = (\text{科目の単位数} \times G P) \text{の合計} / \text{履修科目の単位数の合計}$

○卒業・進級の認定基準

各科目単元最後に定期試験を実施している。試験の評価を基本に、厳正に評価しており、D評価（59点以下）は、不合格となる。本試験不合格者は、再々試験までが認められており、各学年で履修科目のすべての科目の単位取得が、進級、卒業の条件となっている。